

発行：2017年2月14日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャントィ山口 代表 角 直彦
 連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
 ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

「第6回毎日地球未来賞」表彰式・受賞記念講演会

毎日地球未来賞を受賞した「シャントィ山口」事務局長

佐伯 昭夫さん (72)



山口市出身。63年に技術系職員として山口県に採用され、発電所やダム建設に携わってきた。2人の孫がいる。

「自分が何ができるのか。いても立ってもいられなくなった」。海外ボランティアと無縁だった30年前、タイのカンボジア難民キャンプを訪問した日本人僧侶から、病氣

や栄養失調で毎日数百人が命を落とす惨状を聞いた。インドシナ半島の歴史を調べ、ベトナム戦争やラオス内戦などの影響でタイ北部の山岳地帯で厳しい生活を送る少数民族の存在を知り、支援に取り組み「シャントィ山口」に参加した。

資金は行政や企業の助成が中心だが、「この一杯で彼らに何がしてあげられるか」と自問し、酒の付き合いを減らして活動費に充てる。

主要産業がなく、貧困にあえぐ少数民族を支援しようとして現地に学生寮を建設した。その寮に住んだ女子生徒の父親が、覚醒剤売買に関与したとして逮捕されたことがあ

や栄養失調で毎日数百人が命を落とす惨状を聞いた。インドシナ半島の歴史を調べ、ベトナム戦争やラオス内戦などの影響でタイ北部の山岳地帯で厳しい生活を送る少数民族の存在を知り、支援に取り組み「シャントィ山口」に参加した。

資金は行政や企業の助成が中心だが、「この一杯で彼らに何がしてあげられるか」と自問し、酒の付き合いを減らして活動費に充てる。

主要産業がなく、貧困にあえぐ少数民族を支援しようとして現地に学生寮を建設した。その寮に住んだ女子生徒の父親が、覚醒剤売買に関与したとして逮捕されたことがあ

る。学費のためだった。大学で日本語を学び、両国の橋渡し役になることを夢見ていた生徒の涙に胸を打たれ、約20万円(約60万円を個人的に支援。タイの日系企業で働く女性は、佐伯さんを「日本のお父さん」と呼ぶ。

定年退職後、1年の半分は現地へ。手洗いの奨励やタイ語の指導など地道な活動が実を結びつつある。「金や物を渡すだけでは支援とは言えない。モデルを示して、自らの意思でやってみようことが大切」。100回超の訪問でそう実感している。

写真・幾島健太郎 (29面参照)
 文・津久井達

2017.2.14



■地球未来賞「シャントィ山口」に賞状

食料・水・環境の分野で問題解決に取り組む個人や団体を顕彰する「第6回毎日地球未来賞」(毎日新聞社主催、内閣府など後援、クボタ協賛)の表彰式と記念講演会が12日、大阪市の毎日新聞大阪本社オーバルホールであった。毎日地球未来賞には、タイ北部の山岳地帯で暮らす少数民族の自立支援活動に取り組む特定NPO法人「シャントィ山口」(山口県周南市)が選ばれ、代表理事の角直彦さん(69)に若菜英晴・毎日新聞大阪本社副代表から賞状が贈られた。(6面に「シャントィ山口」事務局長・佐伯昭夫さんの「ひと」)



第6回毎日地球未来賞の表彰式で笑顔を見せる受賞者たち。大阪府北区で12日、幾島健太郎撮影